

参加者は普段から谷津田に来ていただいている人たちでした。そしてこの日はボランティアが6名来ていただきました。中学生、高校生、大学院生、そして社会人。皆さん下大和田は初めてでしたが、皆自然好きの

人たちでした。スタッフもフレッシュな人たちの参加で楽しむことができました。魚の取り方の説明がスタッフからあり、ここからスタートです。参加者とボランティアの皆さんがたも網を手に川に入りました。あいにく川の方は流れが悪く泥が堆積し、水位も低いためか捕れる生き物が少なかったです。しかし川の水は冷たくて気持ちが良く、みな夢中で魚やエビを捕っていました。



前後合わせて一時間の魚捕りが終わるとスタッフからこの日捕えられた生き物の説明がありました。そして最後は恒例のザリガニの塩ゆです。初めてザリガニを食べる人が多く、最初は慎重に口に入れていましたが、おいしさがわかると笑顔がこぼれました。

参加者 20 名（大人 13 名、大学生 1 名、高校生 2 名、中学生 2 名、小学生 2 名）

＜小山町での活動＞

猛暑のため、7 月の学校田んぼおよび Y P P の活動は中止となりました。

【谷津田・季節のたより】 2025 年 7 月

＜下大和田町＞ 報告 平沼勝男

7/22 クヌギの樹液にたくさんのカナブンが集まる。ルリタテハも負けじと吸蜜。カブトムシの姿はなし。
田んぼではハスの花が 5 個咲いていた。やはり大きくて美しい。オオシオカラトンボ二つのペアが交尾。目線を下げるとオオイトトンボが複数飛んでいた。畔にヒクイナ 3 羽。私に気付いて慌ててアシ原に飛び込んだ。キビタキ 2 羽以上が競うあうようにさえずり、谷津田に響き渡っていました。

＜小 山 町＞ 報告 いゆ：碓タ子、いた：碓泰洋、高：高山

7/ 2 ハングショウやアキノタムラソウが咲く、オオヨシキリの幼鳥が 3 羽、親から餌をもらっていた（高）
7/ 3 オモダカが開花（高） 7/ 6 ヤマユリが大輪の花を開く、ニイニイゼミの声を聞く（高）
7/10 田んぼの畦でノカンゾウが咲く、久しぶりにチョウトンボの姿を見る（高） 7/17 モズの親子が鳴きながら田んぼを飛び回る、エノコログサが出穂（高） 7/20 イネの葉にシロオビトリノフンダマシが止まっていた（高） 7/22 ヒヨドリが色づき始めたウワミズザクラの実を食べに訪れていた、カラスウリが開花、田んぼの上空をオニヤンマが飛翔（高） 7/26 アブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシなどセミがほぼ出揃う（高） 7/27 畦でタカサブロウが咲く、最近田んぼで姿を見ていなかったセグロセキレイが丘の上の畑に来ていた（高） 7/28 シオカラトンボとアブが戦っていた（いた）、イナゴがイネの葉っぱをムシャムシャ食べていた（いゆ） 7/29 激しく鳴いていたヒヨドリのカップルがハシブトガラスを追ひ払う（高）

【イベントのお知らせ】 主 催：NPO 法人 ちば環境情報センター

＜下大和田谷津田＞ 連絡先：小西 TEL. 090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

・第 308 回 観察会とゴミ拾い

日 時：2025 年 9 月 7 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天決行

内 容：秋の花が咲き始め、赤とんぼも色付く頃です。トンボの調査をしながら谷津と森を巡ります。

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物 参加費：100 円

・森と水辺の手入れ

日 時：2025 年 9 月 21 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天中止

内 容：観察路の整備と復田した田んぼの手入れを行います。

持ち物：長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 参加費：無料

・森の手入れ

日 時：2025 年 9 月 28 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天中止

内 容：森の木の伐採や畑の整備を行います。

持ち物：長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 参加費：無料

＜小山町谷津田＞

※ 8 月の YPP のイベントはお休みです。次回は 9 月に黒米の稲刈りを予定しています。

※ 参加ご希望、その他の問い合わせは、ceic.ypp.oyama@gmail.com までお気軽にメールでご連絡下さい。

